

# 49 食品等物流合理化緊急対策事業

令和7年度補正予算額 1,967百万円

## <対策のポイント>

我が国の物流における輸送力不足への対応や、農業・食品産業基盤等の食料供給の能力の確保のため、①標準パレットの導入、デジタル化・データ連携の取組、デジタル化や自動化・省人化に必要な設備・機器等の導入等、②中継共同物流拠点の整備を通じた流通の合理化や、③産地から港湾・空港までの最適な輸送ルート・体制の構築や地方港湾・空港を活用した新たな輸出物流の構築等を推進し、国民の食料安全保障を確保します。

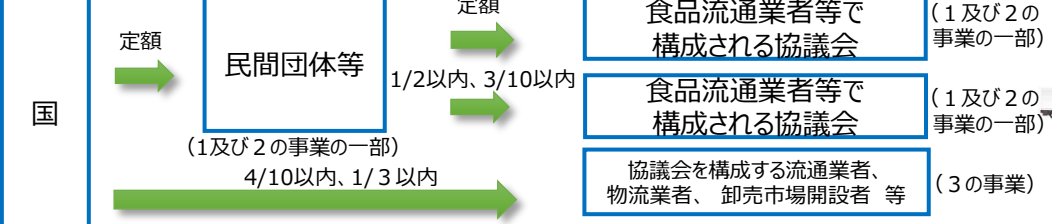
## <事業目標>

- 物流の効率化に取り組む地域を拡大
- 農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円 [2025年まで]、5兆円 [2030年まで]）等

## <事業の内容>

- 1. 物流生産性向上推進事業** 973百万円の内数  
 流通標準化ガイドライン等に基づき、物流の標準化に取り組む事業者が行う、標準パレットの導入、モーダルシフト等の実装の取組や設備・機器等の導入を支援します。また、関係事業者に対する指導・助言や優良事例の発信、産地や業界等の課題に応じて物流の専門家等を派遣する伴走支援等を行います。
- 2. 輸出物流構築事業** 973百万円の内数  
 基幹ルートの機能強化や地方港湾・空港を活用した効率的な輸出物流を構築する取組、デジタル化、自動化・省人化に必要な設備・機器の導入等を支援します。また、関係事業者に対する指導・助言や優良事例の発信、産地や業界等の課題に応じて物流の専門家等を派遣する伴走支援等を行います。
- 3. 中継共同物流拠点施設緊急整備事業** 994百万円  
 中継輸送、共同輸配送、モーダルシフト等に必要となる中継共同物流拠点の整備を支援します。

## <事業の流れ>



[お問い合わせ先] (1、2の事業) 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課物流生産性向上推進室 (03-6744-2389)  
 (3の事業) 食品流通課卸売市場室 (03-6744-2059)

## <事業イメージ>



### <物流生産性向上に係る実装/設備・機器等導入>

標準パレット化、デジタル化・データ連携、モーダルシフトへの適応

### <輸出物流の構築/設備・機器導入>

輸出物流実装、輸出基地、地方港湾等、冷蔵庫・パレタイザー導入、物流施設の利用

### <中継共同物流拠点の整備>

大型車に対応したトラックバースの整備

## 新たな食品流通網の構築

